

# 災害事例

## 草刈り作業中にスズメバチに刺される

### 【災害の概要】

工事の種類：その他の土木工事業

災害の種類：その他の環境等

被災者：3人（うち1人死亡）

### 【災害発生状況】

鉄道沿線の土手の草刈り作業中、草むらよりスズメバチが飛び出して、作業員3名が刺された。刺された作業員のうち1名は、その場にうずくまり、失神状態となり救急車で病院に搬送したが約2時間後に死亡した。

作業員の服装は、Yシャツ・作業ズボンで安全靴を履き、ヘルメットを着用していた。

災害発生日時は、10月初旬の昼間であった。

### 【災害発生原因】

蜂刺されの原因は、蜂の巣があることを知らずに不意に蜂の巣を刺激したこと。

災害が発生した10月の時期は、蜂の活動が最盛期であり、巣の防衛力が最大となっており、草刈機等で巣を刺激すれば殆どの場合、働き蜂に刺される。

### 【再発防止対策】

1 作業前に蜂の巣があることを知っている場合、予め巣を取除くこと。春先は女王バチが1匹で巣を作っており、この時期は危険性が少ない。

しかし、夏から秋にかけては巣の中の働き蜂の数が多くなり、巣の防衛力が高まっているので、巣を取り除くことが困難にな

ることから専門家に巣の駆除を依頼すること。

それが難しい場合には蜂の活動が終わった夜間又は日没後2～3時間後にスプレー式の殺虫剤等を噴霧し撤去すること。

- 2 蜂の巣があるかもしれない作業場所の場合は、スズメバチは「黒」に強い攻撃性を示すことから、作業服は「白」系統の明るい服装とすることが望ましい。又、長袖、長ズボン、長靴等を履き、つばの広い帽子やヘルメットをかぶり、できるだけ肌や頭を露出しないこと。
- 3 蜂刺されの恐れが予想される作業においては、蜂刺され防止のための安全衛生教育を実施すること。
- 4 過去に蜂に刺された際に、他の人と比べて症状が重かった人は、できるだけ蜂に刺される可能性がある作業には従事させないこと。

### 【参考】

多数の蜂に1度に刺されて、ショック死する場合は別として、多くの蜂刺されの災害は、1匹に刺されただけで発生しており、その原因はハチ毒によるアレルギーである。

人は、体内に侵入してくるウイルスや細菌などから体を守るために、これらを攻撃する「抗体」を体内で生産する。この「抗体」は免疫機構として重要な役割を果たすが、それが逆にアレルギー反応の原因となる場合がある。

普通の人では問題はないが、人によってはアレルギー反応のもとになる「抗体」が生産され、この場合、最初に蜂に刺された時に生産された「抗体」と新たに刺された時に注入されたハチ毒抗原とが、「抗原抗体反応（アレルギー反応）」を起こし時には死に至ることがある。